

**サリバチェッカー® よくあるご質問****Q1 サリバチェッカー®とはどのような検査ですか。**

サリバチェッカーとはだ液によるがんリスク検査です。必要なのは少量のだ液（0.1cc）ですので、被爆せず低侵襲な検査です。

だ液中には体の中で生成される多数の小さな分子（代謝物）が含まれています。本検査はこれらの物質でがん組織の中から特異的に濃度が上昇する複数の物質を超高感度分析装置で分析し、さらに人工知能で解析することで、臨床研究のデータと照らし合わせてがんの疾患リスクを評価しています。また、小さながん細胞が存在していても、代謝物のバランスが変化することもわかっており、がんを早期に発見できる可能性があります。

**Q2 遺伝子検査とはどう違うのでしょうか。**

遺伝子検査は生涯を通して不変の特定の個人の遺伝子や染色体についての情報を明らかにする検査です。本検査はだ液を採取した時点でのがんのリスクを調べる検査ですので、定期的な検査をおすすめしています。

**Q3 どのくらいの頻度で検査を受けたら良いのでしょうか。**

進行の早いがんもありますので、心配な方は半年に1回、健康管理ツールとして年に1回は定期的に受診されることをお勧めします。

**Q4 測定は各医療機関で行っているのでしょうか。**

提携医療機関にてだ液を採取し、衛生検査所にて測定、解析、検査結果作成を行っています。そのため、検査の内容および結果はどの医療機関で受けられても同じです。

**Q5 サリバチェッカー®における感度、特異度はどの程度ですか。**

検査精度は研究の進化とともに随時改変を行っているため、感度（がんの方に対して、がんと判定できる割合）、特異度（健康な方に対して、がんではないと判定できる割合）は公開しておりません。本検査では、リスクを段階的に表示することで、検査結果に対する精度を具体的に示す工夫をしております。

**Q6 他の検査と比べて精度はどうか。**

がんに罹患している方を対象に腫瘍マーカーと本検査の比較などは臨床研究で実施しておらず、現段階で比較の数値を出していません。

**Q7 必ずがんを発見できるのでしょうか。**

本検査は、現在のがんのリスクを調べる検査です。高いリスク値が出てがんの発見につながる場合もある一方で、リスク値が低い場合でもがんではないというわけではありません。健康診断、人間ドックおよび他のがん検査を併用していただき、様々な角度からがんの可能性を調べていただくことが健康な身体の状態を維持することにつながります。

リスク値が高い場合には、検査を受けた医療機関または検査後の相談ができる医療機関にご相談いただくことをおすすめします。また、リスク値が低い場合も、年に1回は本検査と健康診断や人間ドック等を受けていただくことをおすすめします。

**Q8 検査できるがん種にはどんなものがありますか。**

検査できるものは肺がん、膵がん、胃がん、大腸がん、乳がん（女性のみ）、口腔がんとなります。検査できるがん種の追加を目指し、大学・医療機関と協力し研究を進めております。

**Q9 男性でも乳がん罹患する可能性があります、男性の乳がんのリスクは出せないのでしょうか。**

リスク計算に使用しております弊社の臨床データ上において男性の乳がんデータが極めて少ないため、現在は乳がんのリスク算出は女性のみとさせていただいております。

**Q10 サリバチェッカー®以外のがん検診は受けなくてよいですか。**

各検査には長所と短所があり、互いに補い合っています。本検査と企業・自治体等で実施している健康診断、人間ドックおよび他のがん検査を併用することでより、がんの発見の可能性が高まります。

**Q11 検査結果はいつ分かりますか。**

検査を受けられてから結果が返却されるまでの期間は3~4週間となります。検査結果の受け取りまでの期間や方法は医療機関により異なっておりますので、受診する医療機関まで直接お問い合わせください。

**Q12 検査を受ける医療機関が遠方のため、検査結果を郵送やメールで受け取ることはできますか。**

弊社から被検者様に直接検査結果はお渡ししておりません。検査結果の受け取り方法については、医療機関にご相談ください。

**Q13 年齢制限はありますか。**

20歳以上の方を対象としております。

**Q14 外国の方でも受診できますか。**

受診可能です。日本在住の方の唾液により研究開発を行った検査であることをご了承の上、検査をお申し込みください。

**Q15 検査結果を英語や中国語でもらうことはできますか。**

英語と中国語（簡体字）の検査結果は提供しております。検査を受けられる医療機関にてご希望の言語をお伝えください。

**Q16 検査を受ける際の注意事項はありますか。**

以下に該当する方は、リスクの評価結果が影響を受ける可能性があります。該当する項目があり、検査をご希望される方はリスクの評価結果が影響を受ける可能性がある事、返金できないことをご了承ください。

- 治療中の方
- 身体に炎症の疾患（風邪、怪我、リウマチなど）がある方
- 妊娠中または授乳中の方
- 6か月以内に手術や放射線治療を受けた方
- 歯の治療のため出血や腫れ、痛みのある方
- 重度の歯槽膿漏、歯周病の方
- 検査前日夜9時~唾液採取までに服薬しなければならない薬がある方
- 透析を受けている方
- シェーグレン症候群など唾液分泌が低下している方

**Q17 がんの既往歴がある場合でも、検査対象となりますか。**

治療を終了され、術後半年以上経過された方については検査対象となります。治療中の場合はリスクの評価結果が影響を受ける可能性があるためおすすめできません。

**Q18 検査費用はいくらですか。**

本検査には健康保険診療は適用されません。自由診療となりますので、検査費用は医療機関によって異なります。検査費用については受診する医療機関へ直接お問い合わせください。

**Q19 医療費控除の対象となりますか。**

控除対象外です。詳細は国税庁のサイト内のタックスアンサー（よくある税の質問）をご参照ください。

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/index2.htm>

**Q20 検査前に食事制限は必要ですか。**

<検査2日前より>

- 豆類、ナッツ類、シジミを原料としたサプリメントや健康食品を摂取しないでください。
- 以下の食品の過剰摂取は控えてください。
  - 枝豆、納豆、煮豆、豆腐、豆乳などの「豆」を主原料とした料理（しょうゆ、みそなどの調味料は通常通り摂取いただいても問題ありません）
  - 大豆ミート
  - くるみやアーモンド等のナッツ類
  - アーモンドミルク
  - シジミ

※以下の食品については検査結果に影響はありません

- もやし、ひよこ豆、レンズ豆、コーヒー豆、カカオ豆
- ごま、ごま油、
- ピーナッツバター、ピーナッツクリーム
- 大豆が含まれている乳酸菌飲料
- シジミ以外の貝類
- ほたての貝柱
- オイスターソース、牡蠣
- ココナッツオイル
- コーヒー

**Q21 検査前日の飲酒は控えた方が良いでしょうか。**

検査前日の夜 9:00 まででしたら構いません。

**Q22 検査1時間前の歯磨きは必須でしょうか。**

必須ではありません。ただし口腔内細菌が多いと検査結果に影響を与える可能性があるため、事前に歯磨きをすることをおすすめいたします。歯みがきガムは検査結果に影響を与える可能性があるため、お控えください。

**Q23 常用している薬がありますが、どうしたらいいのでしょうか。**

現在、アスピリン系の薬剤（抗血小板薬）とビグアナイド系薬剤（糖尿病治療薬）につきましては、リスクの評価結果が影響を受けることが分かっております。他のお薬の検査結果に及ぼす影響は、データを蓄積し、検討中のため確認できておりません。

常用薬がある場合、可能であれば、食事制限と同様に検査前日の夜 9 時までの服薬、検査当日分はだ液検査後の服薬をお願いしております。健康、生命を損なうようであれば服薬を優先していただき、治療を終えてから、あるいはリスクの評価結果が影響を受ける可能性があること、返金できないをご了承いただいた上で検査を受けていただくようお願いいたします。服薬している場合には、検査を受ける際に検査担当者にお伝えください。

自己判断により服薬を中断されますと、健康・生命を損なう可能性がございますので、かかりつけのお医者様にご相談の上、その指示に従ってください。

**Q24 胃部レントゲン検査後にだ液採取の予定ですが、バリウムは検査結果に影響はありませんか。**

バリウムの検査結果に及ぼす影響については、データを蓄積し、検討しております。念のため、だ液の検査は別の日に実施（翌日以降）、あるいはだ液採取後の胃部レントゲン検査をおすすめいたします。

同日内にバリウムを飲んだ後にだ液採取となる場合、うがいをして口腔内をきれいにし、できるだけ時間をあけてからだ液採取を行ってください。その場合、検査担当のスタッフの方にバリウムを飲んだためだ液が濁る可能性があるとお伝えください。

**Q25 だ液が出にくいのですが、検査を受けることはできますか。**

次のことをお試しください。

- 体内の水分が少ないとだ液も出にくくなるため、検査の数時間前から、水を多めに摂取してください。
- だ液採取時に梅干しやレモンを見たり、匂いを嗅いだりしてください。酸っぱいものを見たり、嗅いだりする時にじんわりと出てくるだ液は、安定性だ液のため検査に適しています。
- どうしてもだ液が出にくい場合は、軽くうがいをしてから5分後に採取してください。

※適量のだ液が採取できなかった場合、リスクの評価結果が影響を受ける可能性があること、返金できないことをご了承ください。

**Q26 だ液はどのようにして採取するのでしょうか。**

弊社パンフレットや弊社ホームページをご覧ください。「だ液採取の動画」を YouTube で公開しております。YouTube で“サリバテック”、“サリバチェッカー”、“SalivaChecker”というキーワードで動画検索していただくと上位に表示されます。以下 URL よりアクセスしてご確認ください。

<https://www.youtube.com/channel/UC52aBdOv83W6trp2yPJ1lbQ>

**Q27 検査結果のコメントに「再検査対象」とありますが、医療機関で精密検査を受けた方が良いのでしょうか。**

がん以外の要因でリスクが高く評価された可能性を否定できない場合、「再検査対象」のコメントを付与しております。1回に限り再検査を実施しておりますので、サリバチェッカーの再検査をご検討ください。再検査をご希望される場合には、検査を受けた医療機関にお問い合わせください。

**Q28 再検査には期限がありますか。**

検査結果を受け取ってから3ヶ月以内に再検査を受けてください。

<検査キット開発元／検査・測定機関>

**株式会社サリバテック**

E-mail [info@salivatech.co.jp](mailto:info@salivatech.co.jp)

URL <https://salivatech.co.jp/>

2022年2月作成